

治療薬について

治療薬の種類

主に鎮痛目的。
出来れば減量を。

1. 痛み止め(NSAIDs): ロキソニン, インフリー, モービック, セレコックスなど
2. 副腎皮質ステロイド: プレドニンなど
3. 抗リウマチ薬: リウマトレックス(メトレート), アザルフィジン, リマチル, プログラフなど
4. 生物学的製剤: レミケード, エンブレル, アクテムラ, ヒュミラ, オレンシア

骨を守る。
大事!!



1. 痛み止め
2. 副腎皮質ステロイド には, 速効性があります.
3. 抗リウマチ薬は, 効果がでるまでに, 1ヵ月以上かかることが多いので, 治療開始時には, 併用することが一般的です.

- 上記の治療で, コントロールが不十分の時には,
4. 生物学的製剤を検討します.

内服薬の注意点

痛み止め（ロコックス、ロキソニン、インブリ-S、モロヒンなど）

良いところ：

悪いところ：

- 胃潰瘍、胃くすりを予防的に同時に服用する
- むくみがでたら、減塩を厳重に！

ステロイド（プレドニ、プレドニゾロン）

良いところ：

悪いところ：

- 骨粗鬆症、骨粗鬆症の予防内服を。
- 糖尿病、定期採血を。
- むくみがでたら、減塩を厳重に！

気になることがあれば、
お気軽に、ご相談を♡♡♡♡♡



内服薬の注意点

抗リウマチ薬

リウマトレックス（メトレート）

- 間質性肺炎（リウマチ肺）せきがでたら受診して下さい。
- 肝機能障害、白血球減少、血小板減少 定期的に採血を。
- 口内炎、蕁麻疹、脱毛 薬を減量、中止してください。

アザルフィジン

- むかつき、蕁麻疹→薬を中止して受診を